

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年7月 評価推進員による分析
令和6年9月 評価結果を決定

(2) 評価の方法

施設整備計画にて実施した各種事業を含めた総括事業を、所管部課長が事務事業評価としてまとめ、行政改革推進本部(企画政策課)へ提出し最終分析評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。
弥富北中学校の施設の老朽化対策として物理的な不具合を直し、建物の耐久性及び機能性の向上を図ると共に、新築や改築よりコストを抑えて将来学校が求められる施設環境の水準まで引き上げる長寿命化改良工事を実施したことは、生徒や保護者、教職員をはじめ地域市民から好感触を得ている。
また、弥富中学校の統合(改修)事業については、令和7年4月から十四山中学校を弥富中学校に統合したことにより、中学校の適正規模を確保することができ、生徒の健やかな成長を支える、より良い教育環境の推進に効果を上げた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

建築後40年経過した学校施設の老朽化対策を効率的かつ効果的に進めるために、弥富北中学校を対象に長寿命化改良工事を実施した。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

弥富中学校と十四山中学校の統合にあたって教室不足の解消を図るため、弥富中学校において余裕教室を教室として使用するために必要な整備を実施した。

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

弥富中学校と十四山中学校の統合にあわせて弥富中学校の校舎を改修し、令和7年度に開校した。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施なかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
弥富北中学校(Ⅰ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R5.6～R6.10	R6.3.31		
弥富北中学校(Ⅰ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	屋	R	R5.6～R6.10	R6.3.31		
弥富北中学校(Ⅱ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R5.6～R6.10	R6.10.28		
弥富北中学校(Ⅱ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	屋	R	R5.6～R6.10	R6.10.28		
弥富中学校	(3)	08	統合(改修)	校	R	R6.5～R7.3	R7.3.31		